

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和6年3月25日

事業所名 7th Sense 高槻上牧駅前 保護者等数(児童数) 36 回収数 28 割合 78 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1		1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1		1		職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	7	2	6		多機能トイレ・廊下の手すり・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	28					施設での様子だけでなく、家庭・学校等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成して参ります。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26			2		お子様の状況に合わせてプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	15	6	特に必要は感じていません。	現在、放課後等児童クラブや児童館等との交流の機会はありませんが、柔軟に対応したいと考えております。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	2				契約の際より丁寧に説明するよう努めてまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28					普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27			1		定期的な面接以外でもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	9	14		現在、交流会は設けておりません。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	5		10		苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27			1		事業所での面談以外にも電話やLINE等でのやりとりも可能です。状況に応じて柔軟に対応させていただきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	2	3	8		ブログ等で積極的に活動に関する発信を行うように努めます。
非常時等の	14	個人情報に十分注意しているか	21	3		3		個人情報は鍵付きロッカーに保管しております。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	4	1	5		避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索して参ります。

対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	2	2	3	利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25	3		1	楽しく通所していただきありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	28				支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別支援で行う活動スペースは確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			個別支援スペースでは、刺激を出るだけ減らせるように工夫しています。また、多目的トイレの設置や廊下に手すり等も設置されています。また、滑りにくいように床にはカーペットマットを敷いており、寝転んでリラックスすることや転倒しても安全のように畳のスペースを作っています。待機室とレッスン室でスペースを分けることで気持ちを切り替えやすくしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議等で話し合う時間を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いた意見を元にサービス向上に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内での全体研修や会議での研修を行い、外部の研修にも参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			会議や情報共有シートなどを活用し、利用児童についての情報共有を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントシートは活用できていません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議等で子どもの様子の意見交換をしながらプログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その子どもの興味関心や状況に合わせて臨機応変にプログラムを変えながら行っています。 お子様の状況に応じてあえてパターン化したレッスンを行うことがあるが、その中でもその中でも少しずつ変化させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	長期休暇にイベントを実施していますが、回数としては少ないです。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別支援のため集団活動は行うことはほとんどありません。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			レッスン準備の段階で、適宜打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間の情報共有は適宜行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			レッスン報告書や情報共有シートを活用して活動を記録し、会議等で支援の検証・改善を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインを元に支援内容の検討を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が出席しています。可能な範囲でOJTを行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				該当者なし
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて連携を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童部会を通じて連携や助言や公立の療育園が行う研修等に参加しました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在交流の機会をほとんど持っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	地域自立支援協議会への参加はできていません。地域の子ども・子育て会議(高槻市事業所連絡会児童部会)へは参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	プログラムとしての支援は行っていませんが、お子様への支援方法についての相談は随時受け付けています。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っています。サービス料金の変更がある場合は、その都度説明を行っています。

への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時相談を受け付けており、助言や支援を行うよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携の支援は行っていません。希望が多ければ今後検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えていきます。相談は随時受け付けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報の発行は行っていませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行ってまいります。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域に開かれた事業はできていません。今後要望がございましたら検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	災害を想定した避難訓練は実施することができました。マニュアルは職員で確認を行っています。マニュアルは事務所に置いていますが保護者への周知は不十分なところがあります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難経路の確認や災害時の対応についての訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修や情報共有を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束に関しては、どのような場合に行うか、また行った際の対応を保護者に説明をした上で、児童発達支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供は行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの内容を記録し、全職員が確認しています。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense 高槻上牧駅前

保護者等数(児童数) 22

回収数 15

割合 68%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	14	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切である	13			2		職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	1		1		多機能トイレ・廊下の手すり・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	2				毎日清掃を行っており気持ちよく過ごせるよう心掛けております。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	14	1				施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成して参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12				その他1 2 おそらくされているのではないかと	お子様に必要な支援項目を設定し、具体的でわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15					保護者の方に同意を得た支援計画をもとに支援を行っております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	13	2				お子様の状況に合わせてプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4	4	3		現在、事業所プログラムとして園等との交流の機会はございませんが、柔軟に対応したいと考えております。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	14				その他1 重要事項、契約書の内容は一通り読まれていたと思います	契約時に読み合わせを行っております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	15					計画更新の際、面談を行い内容の説明を行っております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	9	2		4		レッスンの振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えしております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	13	2				普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13	2				定期的な面接以外にもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	1	7	4		現在、交流会は設けておりません。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7	2	1	5	管理者の対応に不快感を感じるがあります。	不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。気持ちよく利用いただけるよう気を引き締めて参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	2		1		事業所での面談以外にも電話やLINE等でのやりとりも可能です。状況に応じて柔軟に対応させていただきます。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	14			1		個人情報には鍵付きロッカーに保管をしております。
非常時等の 対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	12				その他1 2 契約時に説明されていたのでしょうか	避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索して参ります。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	15					利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	14	1			通所日を楽しみにしている。	楽しく通所していただきありがとうございます。
	22	事業所の支援に満足している	113	1			その他1 子どもも楽しんでおりまずまずだと思う。	支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個別支援で行う活動スペースは確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		適切に配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		個別支援スペースでは、刺激を出さないように減らせるように工夫しています。また、多目的トイレの設置や廊下に手すり等も設置されています。また、滑りにくいように床にはカーペットマットを敷いており、寝転んでリラックスすることや転倒しても安全なように畳のスペースを作っています。待機室とレッスン室でスペースを分けることで気持ちを切り替えやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃や定期的の大掃除を行っており気持ちよく過ごせるよう心掛けています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議等で話し合う時間を設けています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		頂いた意見を元にサービス向上に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		HPIにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内での全体研修や会議での研修を行い、外部の研修にも参加しています。他教室の専門知識をもった指導員から研修を受ける機会も確保しています。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		会議や情報共有シートなどを活用し、利用児童についての情報共有を行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントシートは活用できていません。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		面談でお話を伺い、それをもとに具体的な支援内容を設定するよう努めています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画を共有し、計画の内容に沿ってレッスンのプログラムを立てています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		会議等で子どもの様子の意見交換をしながらプログラムの立案を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		その子どもの興味関心や状況に合わせて臨機応変にプログラムを変えながら行っています。 お子様の状況に応じてあえてパターン化したレッスンを行うことがあるが、その中でもその中でも少しずつ変化させています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか		○	個別支援のため集団活動は行うことはほとんどありません。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		レッスン準備の段階で、適宜打ち合わせを行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		職員間の情報共有は適宜行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		レッスン報告書や情報共有シートを活用して活動を記録し、会議等で支援の検証・改善を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回以上見直しを行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が出席しています。可能な範囲でOJTを行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		希望に応じて保育所、幼稚園等との連携や参観は実施しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として、子どもの様子や支援方法等に関する情報の共有を小学校と行ないました。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童部会を通じて連携や助言や公立の療育園が行う研修等に参加しました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在交流の機会をほとんど持っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	協議会子ども部会へは現在参加ができていません。地域の子ども・子育て会議(高槻市事業所連絡会児童部会)へは参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	プログラムとしての支援は行っていませんが、お子様への支援方法についての相談は随時受け付けています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っています。サービス料金の変更がある場合は、その都度説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		記載事項の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時相談を受け付けており、助言や支援を行うよう努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携の支援は行っていません。希望が多ければ今後検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えていません。相談は随時受け付けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報の発行は行っていませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行ってまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域に開かれた事業はできていません。今後要望がございましたら検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		災害を想定した避難訓練は実施することができました。マニュアルは職員で確認を行っています。マニュアルは事務所に置いていますが保護者への周知は不十分なところがあります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難経路の確認や災害時の対応についての訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		施設利用開始時に確認をとっています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供は行っていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの内容を記録し、全職員が確認しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束に関しては、どのような場合に行うか、また行った際の対応を保護者に説明をした上で、児童発達支援計画に記載しています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。